

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 中津商業高等学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和6年6月28日(金) 13:15~15:30
- 3 開催場所 中津商業高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業参観を実施した
- 4 参加者

	会 長	成瀬 博明	本校同窓会会長 (欠席)
	副 会 長	保母 龍興	本校同窓会副会長
	委 員	児玉 光弘	地域住民代表、学識経験者
		李 瑾	中京学院大学准教授
		平岡 淳	中津川市立第一中学校校長 (欠席)
		有我友香理	中津川市定住推進部市民協働課主任
		鈴木 真弓	中津川市商工振興課主任主査
		久木 利道	トーキン工業(株)相談役
		名城 仁志	本校PTA会長
		野田賢太郎	本校PTA役員 (欠席)
	オブザーバー	原 祐一	本校元校長
		森 益基	岐阜県議会議員
	学校側	丸山 裕	校 長
		丹羽 静	教 頭
		松村 勇一	事務長
		兼松 美穂	教務主任 (欠席)
		伊藤 則生	生徒指導部長
		坂本 美和	進路指導部長
		若尾 昌彦	商業教育部長
		勝野日菜子	記録

5 会議の概要(協議事項)

(1) 学校運営の方針と重点について

令和6年度教育指導の重点及び学校経営計画について
 生徒心得について
 学校組織編制について
 教育課程について
 年間行事計画について

(2) その他

部活動について

6 各委員からの意見

- 意見 1：課題研究の授業において、企業とコラボレーションができており、社会に出て役立つ学びができています。
- 意見 2：「LGBTQに対応できる制服の検討」も実現しようと思うとなかなか難しく、課題がたくさんある。
- 意見 3：少子化の中、中学生の進路希望で、通信制高校や県外の高校の希望が増えてきている。地道に本校のPRをしてほしい。
- 意見 4：実学での学びをよく頑張っている。
- 意見 5：102年の伝統のある本校の建物の老朽化も見えるので、修繕または新しくできるとよい。
- 意見 6：新しい観点での評価とはどのようなものなのか。
→各教科担当で、テストにおいてそういった観点を入れた作問をしてもらっている。テストだけではなく日頃の授業や実習での活動、提出物の取組みを含めた評価を各教科で統一して行っている。
- 意見 7：時代に即した専門人材の育成について力を入れていることが分かった。10年前と比較すると、大変発展したという印象を受けた。
- 意見 8：地域とかかわりながら、自分たちの能力を高めている。
- 意見 9：地元に戻りたいという生徒を増やしてほしい。
- 意見 10：東京など関東圏への進学が減少している。東京への進学を勧めるとともに、将来教員となる生徒を育ててほしい。
- 意見 11：本校の良さを知ってもらうために、生徒の発表の場を校外でも行ってほしい。
- 意見 12：生徒たちが、自分たちで商品化することを実感できる環境がよい。

7 会議のまとめ

第1回学校運営協議会では、全委員より今年度の本校の学校経営計画を踏まえた学校運営基本方針について承認が得られた。

今回、流通コースの課題研究を参観してもらった。そこでは生徒が新商品の発表会を行ったが、委員の意見にもあるように、校外で発表できれば、本校の魅力を発信できる機会にもなる。来年度に向け実施できるか検討していきたい。

進学希望者が増えている中、大学の紹介も積極的に行うとともに、大学卒業後も地元で就職できるよう、自治体や企業と連携していく。

多くの委員から本校の学びについて一定の評価が得られている。今後も、課題研究や検定試験に向けた本校の特色ある学びを深化させるため、授業改善に努めていく。